

31 褥瘡発生率

解説	<p>入院後に褥瘡(床ずれ)が新規発生することで、患者のQOL(生活の質)の低下をきたし、結果的に入院期間の長期化や医療費の増大を招きます。これは、適切な診療により予防できる疾患です。褥瘡の治療はしばしば困難なため、発症予防がより重要です。知識の蓄積、予防の計画、予防の実施にかかる総合力を評価する指標です。</p>												
実績	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>褥瘡発生率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成23年度</td><td>0.86</td></tr><tr><td>平成24年度</td><td>0.77</td></tr><tr><td>平成25年度</td><td>1.00</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>0.76</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>0.86</td></tr></tbody></table>	年度	褥瘡発生率 (%)	平成23年度	0.86	平成24年度	0.77	平成25年度	1.00	平成26年度	0.76	平成27年度	0.86
年度	褥瘡発生率 (%)												
平成23年度	0.86												
平成24年度	0.77												
平成25年度	1.00												
平成26年度	0.76												
平成27年度	0.86												
定義	<p>1年あたりの褥瘡発生率(入院してから新しく褥瘡が発症した患者数の比率)です。</p>												